

井草会会報

発行 昭和52年5月1日
第16号

井草高校同窓会の現状

同窓会会长 野呂俊一
(旧姓 築山)

昭和52度同窓会のお知らせ

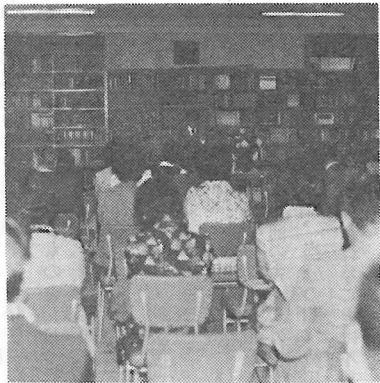
日 時 5月22日(日)
午後1時~4時

会場 井草高校本館

会費 300円(ソフトドリンク付)

講演者 生野真直先生・大隅芳秋先生
(予定)

杉野隆先生・三柳将明先生



同窓会への御招待

春光ららかな折、会員の皆様いかがお過しでしょうか。さて、今年も五月に同窓会を開くことになりました。昨年同様、好評の諸先生方による講演をしていただき、その後、模擬店でなつかしい先生方、友人と話をはずませて下さい。高校時代の友は永遠の友、年賀状だけで年に一度も会わない友、そういう友と友情を呼びおこして下さい。幹事一同、十分な準備をしてお待ちしております。

井草高同窓会は、いまや資金難のため運命にあります。財政の現状を少しお話ししますと、収入源は、新入会員の会費約四十万円(一人千円)と、振替用紙による会費約二十万円の合計六十万円だけになります。一方、支出として、会報を年に一度作成し、同窓生会員に配布しますと、郵送代と印刷代だけで七十万円になってしまいます。この他に、年に一度の名簿作成の費用などひねり出すことが不可能になつてまいりました。収入と支

出のこのアンバランスに関しましては、もう十年來の最大課題として、幹事会を開くごとに質議・検討を加えてきましたが、結局、正解は得られず、今日に至つたために寄与していただきたいと思います。

井草高校の卒業生も、昭和十六年創立以来高女時代五回、高校になり二十九回

の卒業生を迎えて、約九千五百名の大きな仲間となつてまいりました。母校井草高校には、昭和五十年に三階建の立派な体育館も完成し、昔を偲ぶ木造校舎はまたたくなくなり、時の流れのはやさをひしひしと感じる次第であります。

さて、これだけ大組織にふくれあがつた井草高同窓会は、いまや資金難のため明日にでも脳卒中で倒れてしまいそうな

運命にあります。そこで、本年度は、大々的に一口千円の寄附を募りたいと思いますので、なにとぞ全会員の皆様の御協力をお願いいたします。

1 自主的な寄附を会員の皆様にお願いする。

2 会費を値上げして、会費納入に今まで以上に協力していただく。

3 学校側と話し合いにより、新入会員の入会金を値上げしていただく。

4 同窓会組織で収入源になる催しを開く。

などについて具体的に考えております。とりあえず、本年度は、大々的に一口千円の寄附を募りたいと思いますので、なにとぞ全会員の皆様の御協力をお願いいたします。

ひと昔前と違い、ほとんどの学生が大学へ進学する現代では、高校時代というものはその途中の單なるひとつステップであるかもしません。しかし、青春の最もよき時代を、春の八重桜、秋のいちょうに囲まれ、リベラルな校風の中で

昭和51年度決算及び

52年度予算

3月27日の幹事総会で以下の様に承認・成立致しました。

〔51年度決算〕

収入	643,452
支出	604,831
繰越金	38,621
○収入内訳	
新入会員会費	399,000
前年度繰越金	26,758
積立金	150,000
雑収入	67,694
計	643,452

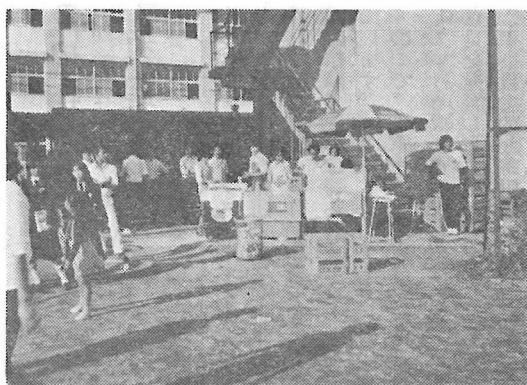
○支出内訳

同窓会通知	181,000
同窓会準備	53,946
幹事会	54,060
新入幹事会	10,350
積立金	250,000
雑支出	55,475
計	604,831

〔昭和52年度予算〕

収入	
新入会員会費	400,000
前年度繰越金	38,621
積立金	250,000
会費(見込み)	500,000
計	1,188,621

支出	
会報印刷・発送	515,000
同窓会準備	60,000
幹事会	60,000
積立金	450,000
予備費	103,621
計	1,188,621



井草会存続のために

のびのびと教育を受けてこられた事は、この上ない幸せではないでしょうか。井草に育ち、井草を愛し、井草を大切にしていきたいと、全卒業生が心のどこかに持続しているのではないか。同窓生の皆さん、井草高校同窓会を発展さすもつぶしてしまったも、全て、皆さ

ん一人一人の肩にかかるといつても過言ではありません。ひとつもう一度同窓会の存在意義というものを、じっくり考え直し、力強く協力を切にお願い申し上げる次第です。

(現在、明治薬科大学・助教授)

寄付

名簿はと言えば、五年前の古いものですしかも、このままでは、当分の間、費用の面から考えて、名簿を作ることは不可能です。

このような理由により、止むなく、年会費を五百円から千円に(三月二十七日幹事総会に於いて承認)値上げさせていただきます。また、寄附も広く募りたいと思いますので、ぜひ御協力下さるようお願いいたします。

昨年の九月、井草高校体育祭において若い幹事を中心に、売店を開きました。雨で順延しましたが、当日は幸い、天候にめぐまれました。売店といつても、ジユースが主で、他に弁当類やアイスクリームがおいてある写真のようなものです。準備はすべて、ジユース会社の人がやつてくれました。われわれは、ただ、どんづまれていきました。

午前の部が終ると、行列ができるほど多くの繁盛でした。空ビンのケースもどんどんつまられていきました。午後になると、幾分順調に売れました。午後になると、競技中は、あまり客もなく、体育祭見物山を見て、騒然としていました。全部で六十ヶ所でした。

午前中は、暇でした。しかも、若い幹事が多く、現役に知り合いが多く、客といえば、そういう人たちでした。しかも

思います。

竹下 信雄様(一〇回卒)八千円

野呂 俊様(十二回卒)一万円

三友 敬太様(十三回卒)五千円

宍戸 文男様(十九回卒)四千円
新田 秀夫様(二回卒)四千円

体育祭売店日記

奢ってくれとか、負けてくれとかいうのが多く、奢ってやったり、負けてやると自分のさいふから、足りない分をださなければならぬような雰囲気でした。お昼近くなっても、弁当類があまり売れないでの、観客席に行商に行くことになりました。観客席に行商に行くことにつとめう間に全部売れ、追加注文を受けてくるほどでした。

星ころには、幹事も大分集まり、一般会員にも手伝ってもらひながら、和氣あいあいとやっていきました。

午前の部が終ると、行列ができるほど

の繁盛でした。空ビンのケースもどんどんつまられていきました。

午後になると、競技中は、あまり客もなく、体育祭見物

山を見て、騒然としていました。全部で

をしていました。応援合戦では、女子の衣装にみとれて、売店にほとんど人がいなくなってしまいました。

体育祭が終つて、なんとかジュースも売り切れました。売り上げは、結構ありました。しかし、現役に対して、同窓会の幹事になろうという人もありました。結構大変でしたが、楽しい充実した一日でした。

二十六回同期会

原田英一

去年五月、井草高校本館二階に於いて二十六回卒の同期会を約五十名の同期の方々の参加をいただき、同窓会と同時開催しました。同期会といっても我々のように卒業後三年という井草会では新参者の集いですので、堅苦しい形式には因われず気楽な雰囲気での交流の場を持つ事ができたと思われます。また、会場には同期生の伝言板を設けて、当日参加できない方の間接的な交流の場としました。

同期会開催に際しては、二十六回卒の同窓会幹事が中心となり各クラス会幹事その他同期の方々による同期生の住所調べ等事務的仕事から同期会開催まで約半年の準備段階を経て開催となつたわけであります。立案段階より参加者が不確実とか連絡方法とかの問題があり考え込んでしまった事もしばしばありました。

卒業後三年、短い時間ではありますが同期の仲間は、皆それぞれに独自の道を歩み、進学、就職そして社会人と様々に新しい環境へと進んでおり、高校時代のよう同一时限に立つた交流の場が失われてしまつた現在、単に、昔の仲間と会いたいという願望があつてもそれが即ちに同期会への参加に結び付かないという課題もありました。しかし、そうは言つても当同期の仲間と話をはずませ、昔の事など思い起こすと、高校時代の想い出と三年間に変わつてしまつた仲間たちとの大きな差違に驚いたり、全然変わらない仲間をみてふと安心したり、また肩をたたき合つたり握手したりで昔の友情を再確認して大満足だつたり、自慢げに自分の事を互いに見せ合つたりで、過去の时限には決して戻れない事はよく分かつていても、そこは何か共通点を発見して喜んだり安心したりで、そんな感慨にふけるのも同期会の目的としては曖昧ですが大切な事だと思われます。

過去を拒絶し常に現在の自分を把握する為に行動をとる人間となる事が有意義なのでしょうか。高校時代を單なる通過点としてしか認識出来ないとしたら、人生はなんと空虚なものになるのでしょうか。高校で過ごした日々、仲間・先生をもつと大切にして、それを基礎とした自分を見つめる。決して懐古趣味だけに終らず仲間との輪をいつまでも持ち続けたい。同期会を有意義な集いにするのは、同期生一人一人が各自それぞれの認識の

上での判断によるもので、我々幹事はその集いの場を提供したにすぎません。また、当日あえて同期会を儀式だけに終わらせない為にも、催し物等は行いませんでした。

今 の 井 草 そ の 一

今年の大卒受験も終りました。さて、

井草高校の後輩たちはどうであつたか、

多くの皆様が関心あることと思います。

そこで、主なものを載せてみました。

しかし、確実にその結果をつかむのは、非常に困難な事であります。できるだけ正確なものにしたいと努力いたしましたが、必ずしも正確でないことをお許し下さい。

千葉大・7、東京大・2、北海道大・3、東北大・3、一橋大・2、筑波大・4、都立大・6、お茶の水女子大・3、東京水産大・2、岩手大・2、新潟大・1、東京農工大・5、横浜国大・3、埼玉大・7、電通大・5、東京学芸大・18、横浜市立大・2、他

井草会則により、前年度までの役員が五十二年三月三十日をもつて解任されました。規定によつて、五十二年三月二十七日の幹事総会において左の新役員十一名が承認・成立了。

会長 野呂俊一(二十六回卒)
副会長 須藤隆史(二五回卒)
庶務 岡田至弘(二六回卒)
会計 伊藤頼子(二七回卒)
監査 石田英夫(二八回卒)
西田実(十七回卒)

院大・28、慶應大・18、中央大・42、明治大・31、成蹊大・36、立教大・25、成城大・7、津田塾大・5、法政大・20、日本大・24、早稲田大・36、武藏大・13、武蔵野音大・4、明治学院大・9、東京理科大・12、武蔵工大・8、工学院大・8、芝浦工大・11、共立女子大・8

学習院大・10、獨協大・9、国学院大・女子大・5、東京農大・3、玉川大・3、明星大・3、武蔵野美大・4、日本女子大・4、東海大・6、上智大・7、実践大妻女子短大・8、他

おめでとう藤岡さん御兄弟

軟式テニス部OB一同

今 の 井 草 そ の 二

今年の三月、藤岡大和（十八回卒）・典子（旧姓荒幡・二十三回卒）夫妻、藤

岡明徳（二十回卒）・弘子夫妻をお招きして、軟式テニス部OB・OGによるお祝い会を開きました。藤岡さん御兄弟にはみんな、高校時代や卒業してからも、本当にお世話をなったので、三十名ほどのOB・OGが集まりました。

結婚進行曲の流れる中、二組のカップルが登場し、みんなクラッカーと拍手をもって迎えました。そして、花束や感謝状を送り、各代の代表がお祝いの言葉を述べました。初めのうちは何となく、みんな緊張しておりましたが、乾杯して、

料理を食べだすと、その緊張も解けて話もはずみました。

仙台や静岡からかけつけた人もいましたし、スリーピースを着てきた人がいるかとも思えば、ジャージを着てくるおもしろい人もいました。年令も十八～二十八と幅があり、みんなそれぞれ社会人や学生などとして世間にでて、ばらばらになっているようだが、事あらばみんな集まっています。やはり高校時代、クラブ活動をしていて本当にやかたとみんな感じていたようでした。でも、中には、自分の時には二・三人しか集まってくれないのでないかと冗談を言う人もいました。

藤岡さん御兄弟は照れながらも、本当にうれしそうで、中にはとても羨ましそうに、二組のカップルを眺めている人もいました。

そのうち歌も飛び出しました。高校時代の合宿を思いだしながらみんなで歌う一コマもありました。辛く、厳しかった高校時代の思い出を恐かった先輩と語り合いました。高校を卒業してまだたいして時が経っていないのに、遠い昔のことのようでした。

二組のカップルの前途を祝し、合宿やOB会での再会を約束して、みんな解散しました。



○ 井草高の校長が、桃原良治校長から新井鎮夫校長に変わりました。

○ 最近のある調査によると、井草高の生徒で、親友と呼べる人がいるという人が八六%，おもしろい授業があるという人が七一%，文化祭や体育祭でとても楽しいと思った人が八〇%。井草高が好きだという人は八九%，高校生活を楽しんでいる人は八四%という結果がされました

また、恋人のいる人は一九%（石神井高二四%，大泉高二二%）以前はいた人は

一九%（石神井高二〇%，大泉高一四%）だそうです。『勉強の大泉、スポーツの石神井、恋愛（遊び）の井草』という言葉はやはり、虚言にすぎなかつたようです。

○ からまつ山荘が昨年満十歳になつたそうです。特に若い同窓生には思い出多き山荘でしょう。これからも、御利用していただくようお願いいたします。料金は一般一泊二食で二千二百円、その他くわしいこと、申し込みは、井草高事務室（TEL 920-0319）まで

第一勧業銀行 口座番号 ○五三四三〇三七〇一四番
三井銀行高田馬場支店
口座番号 ○一八八〇一四番
井草会 築山俊一行

銀 行 口 座 新 設

Bとして週に何回かは、今だに高校へ行きますが、井草高もだいぶ変わったようです。外見より内面的に変わり、別世界

井草会の仕事も一年間やってきて、だいぶわかつてきました。しかし、この会

発行 井草高校井草会
発行責任者 石田英夫
印刷所 かどや印刷
練馬区下石神井五一一三七

報も必ずしも、満足いくものではなく、まだまだ未熟者なのです。次回の会報の内容でも結構ですので原稿をお貸し下さい。どんな内容でも結構ですので原稿をお貸し下さい。また、郵便の振替用紙の裏の一言コーナーに何かお書き下さい。井草会を運営していくに当たり、一方通行であります。皆様の住所、又は友人の住所などを折あることにお知らせ下さい。

最後に、井草会の財政難に際し、諸印刷物を、格安にしていただき、かどや印刷さんに感謝したいと思います。